

マンガでわかる Python



基本の基本を知ろう

データ型

複数の値のデータ型

条件分岐をしよう

繰り返し処理をしよう

関数を作ろう

エラーとエラー制御

ファイルの読み書きをしよう

目次

第1章「プロローグ」

1-1「新人教育」

第2章「まずは下準備」

2-1「プログラムって何？」

2-2「開発環境を作ろう」

2-3「簡単なプログラムの実行」

2-4「今後の方針」

第3章「基本の基本を知ろう」

3-1「処理順とインデント」

3-2「コメント」

3-3「プログラムの要素1」

3-4「関数」

3-5「値」

3-6「演算子」

3-7「プログラムの要素2」

3-8「変数と代入」

3-9「インポート」

3-10「pip」

3-11「自作モジュール」

第4章「データ型」

4-1「データ型」

4-2「整数と小数点数」

4-3「テキスト」

4-4「真偽値と比較演算子」

4-5「None」

第5章「複数の値のデータ型」

5-1「リスト」

5-2「リストとテキストの変換」

5-3「タプル」

5-4「辞書」

5-5「集合」

第6章「条件分岐をしよう」

6-1「if文」

6-2「if文2」

6-3「複数の比較」

6-4「いろいろな比較」

第7章 「繰り返し処理をしよう」

- 7-1 「while文」
- 7-2 「for文」
- 7-3 「enumerate関数」
- 7-4 「range関数」
- 7-5 「辞書と組み合わせる」
- 7-6 「リストやfor文の入れ子」
- 7-7 「break文とcontinue文」
- 7-8 「リスト内包表記」

第8章 「関数を作ろう」

- 8-1 「関数を作る」
- 8-2 「pass」
- 8-3 「デフォルト値と
キーワード引数」
- 8-4 「アンパックと可変引数」
- 8-5 「lambda式」

第9章 「エラーとエラー制御」

- 9-1 「エラーが出た」
- 9-2 「エラーを見てバグを直す」
- 9-3 「エラーがまた出た」
- 9-4 「エラー制御」

第10章 「ファイルの読み書きを しよう」

- 10-1 「CWDと
プログラムのパス」
- 10-2 「プログラムのパスと
名前」
- 10-4 「パスの操作」
- 10-4 「テキストファイルの
読み込み」
- 10-5 「テキストファイルの
書き込み」
- 10-6 「CSVの読み書き」
- 10-7 「JSONの読み書き」
- 10-8 「ファイル一覧」
- 10-9 「複製や削除など」

第11章 「エピローグ」

- 11-1 「まとめ」
- 11-2 「この先」
- 11-3 「社長への報告」

第1章

プロローグ



1-1 「新人教育」







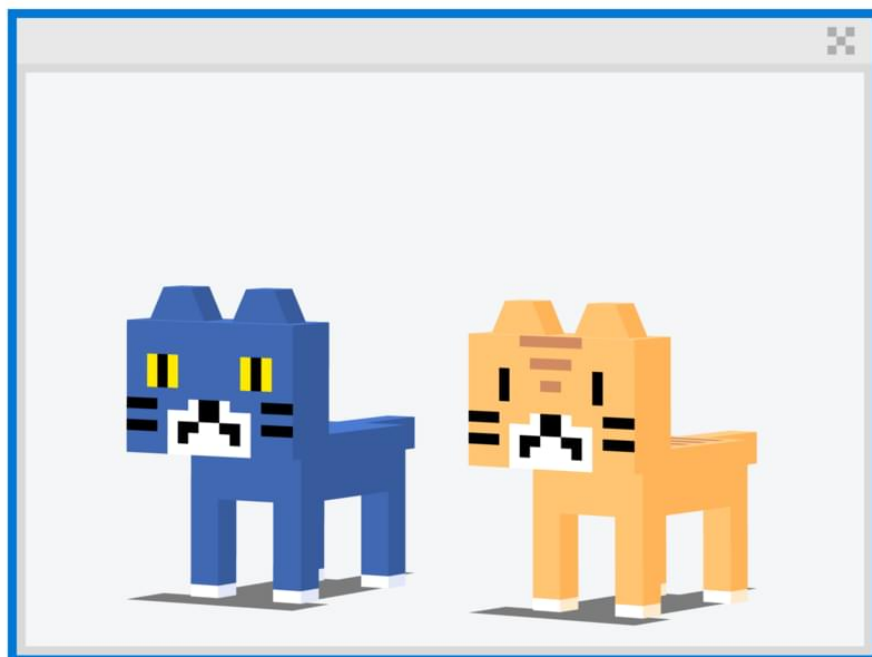






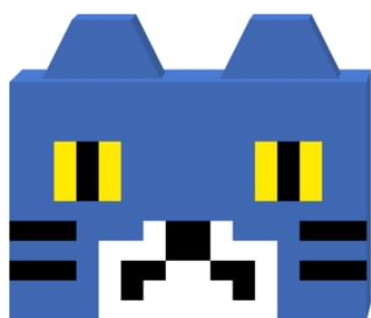
忠商企業 登場人物





第2章

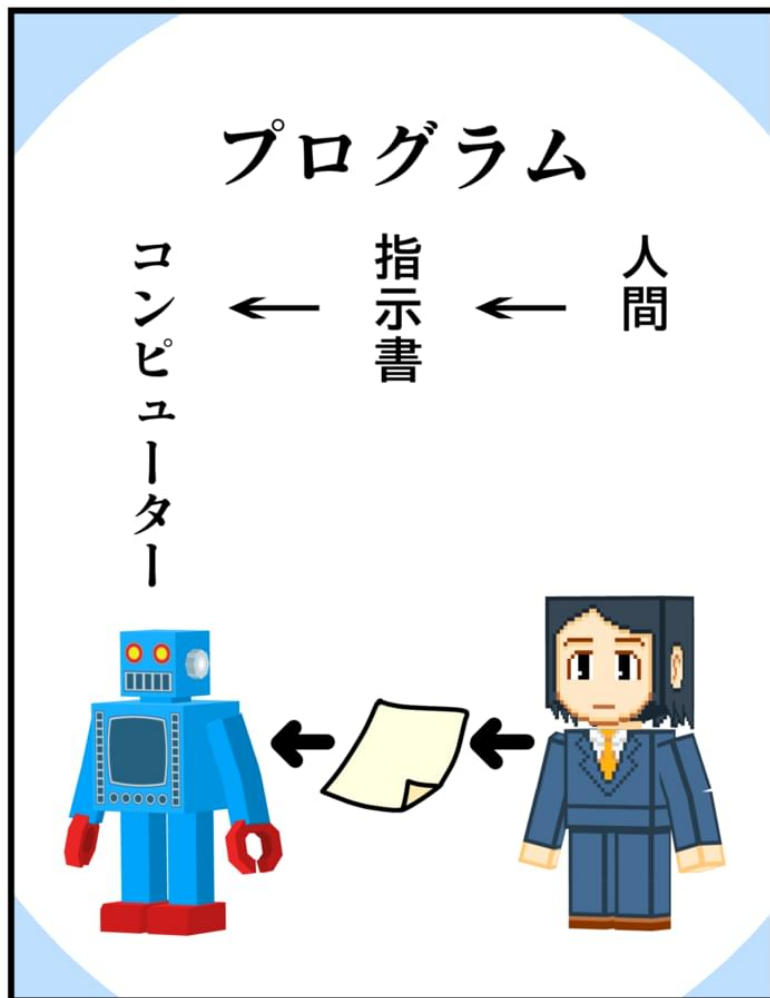
まずは下準備



2-1 「プログラムって何？」









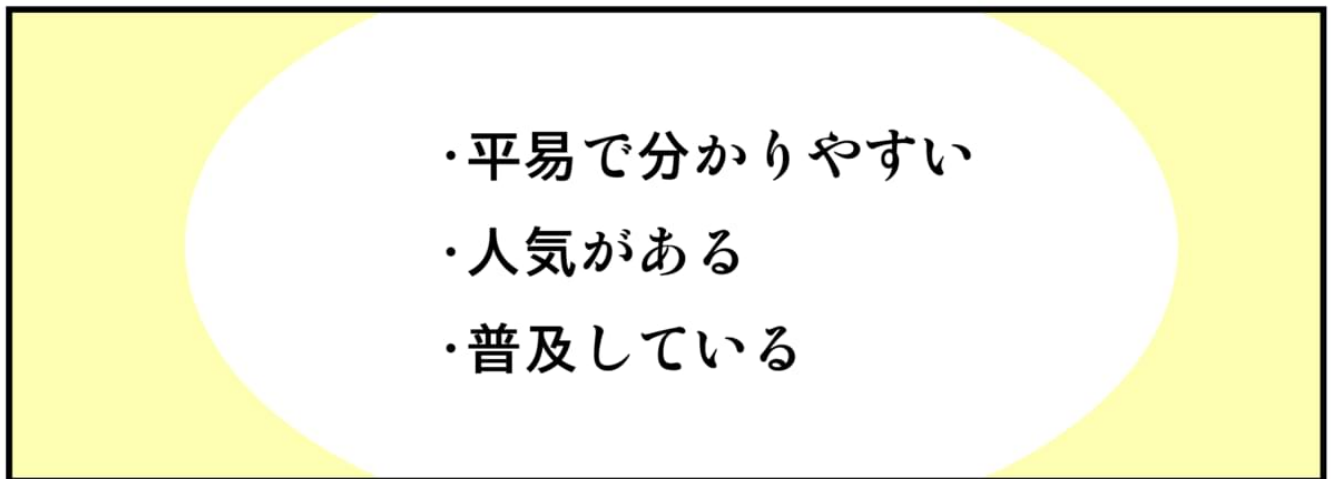
プログラムを書く時は
プログラミング言語を
選ぶところから始まる

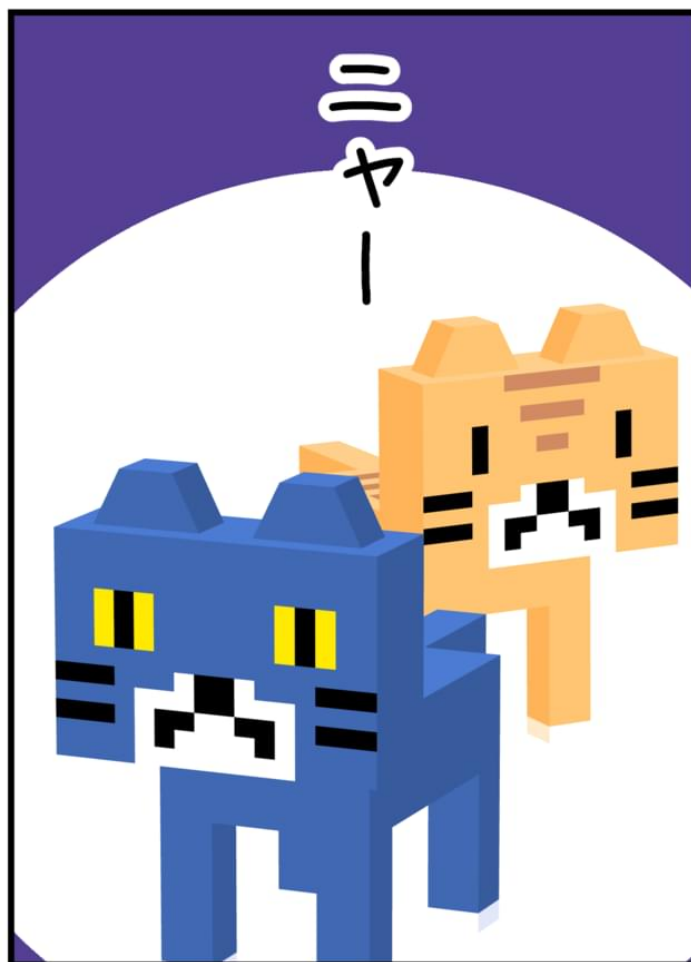
種類は多くて
Pythonとか
Javaとか
JavaScriptとか
いろいろある

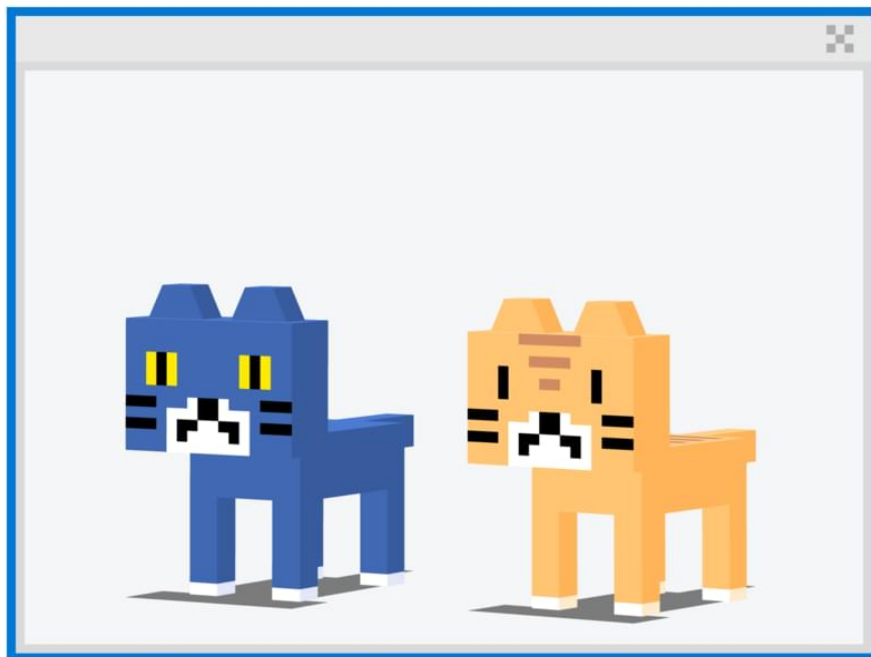
パイソン
ジャバ
ジャバスクリプト

なるべく
簡単そうなので
お願いします

そこは考えている
Pythonを
教えようと思う







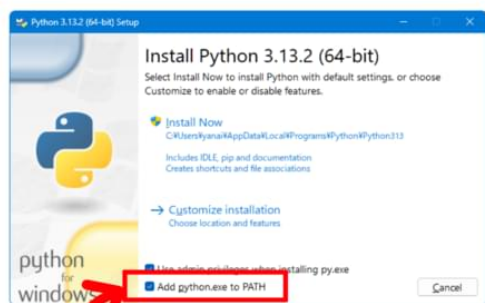
2-2 「開発環境を作ろう」





Python実行用のソフト
<https://www.python.org/downloads/>

インストールダイアログ



Windowsなら
ここにチェックを入れる

それぞれ
URLから
ダウンロードして
インストール
してくれ



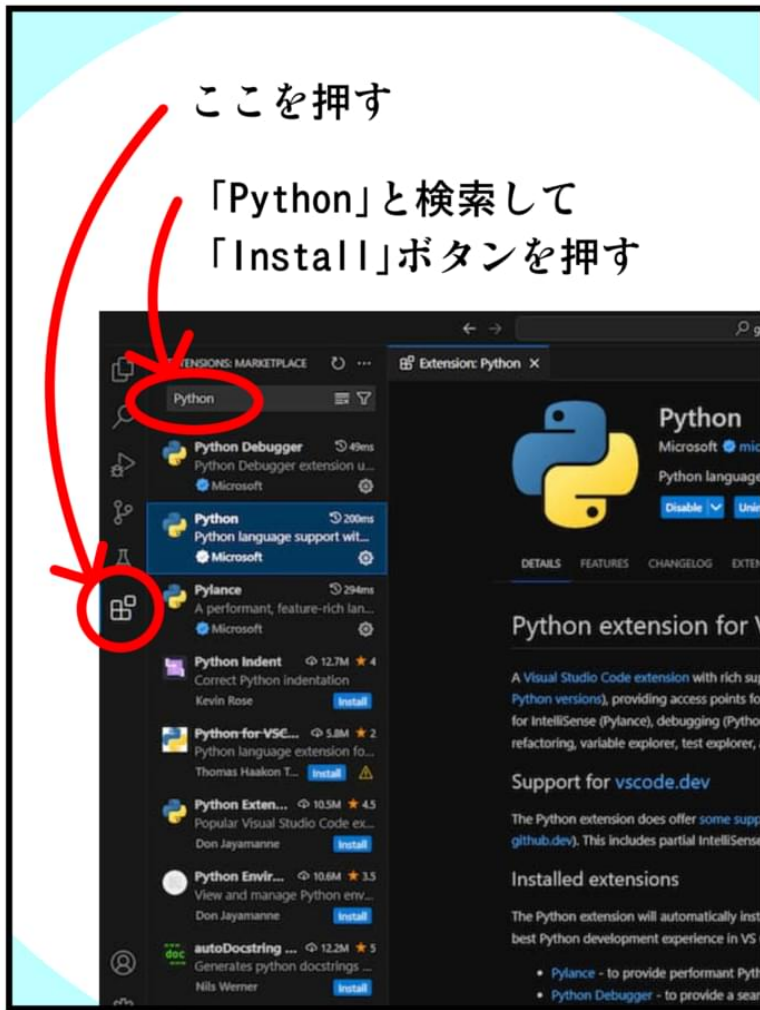
もう少しだけある

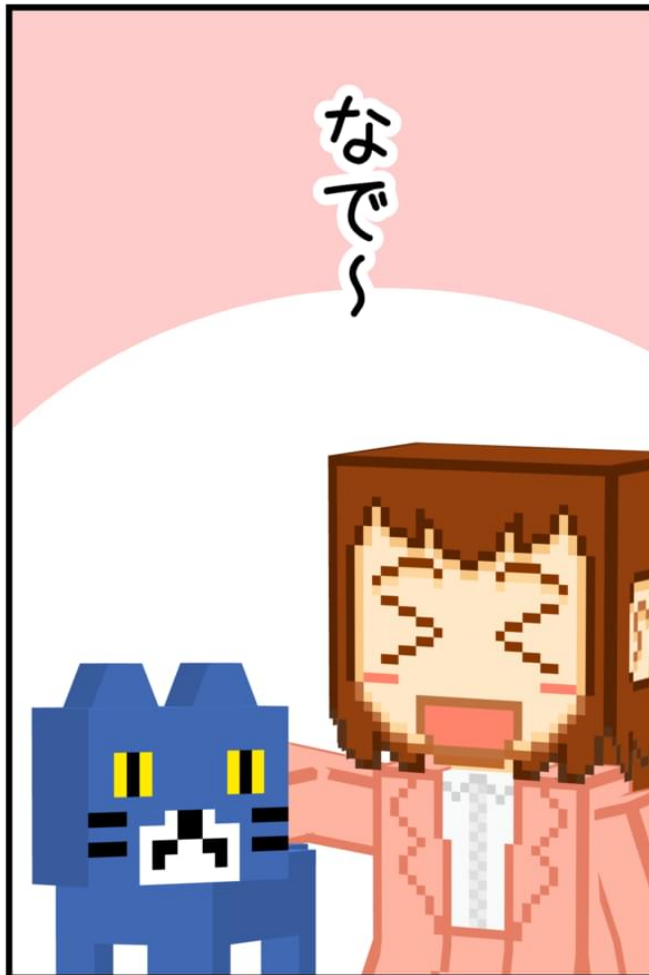
これで完了ですか？

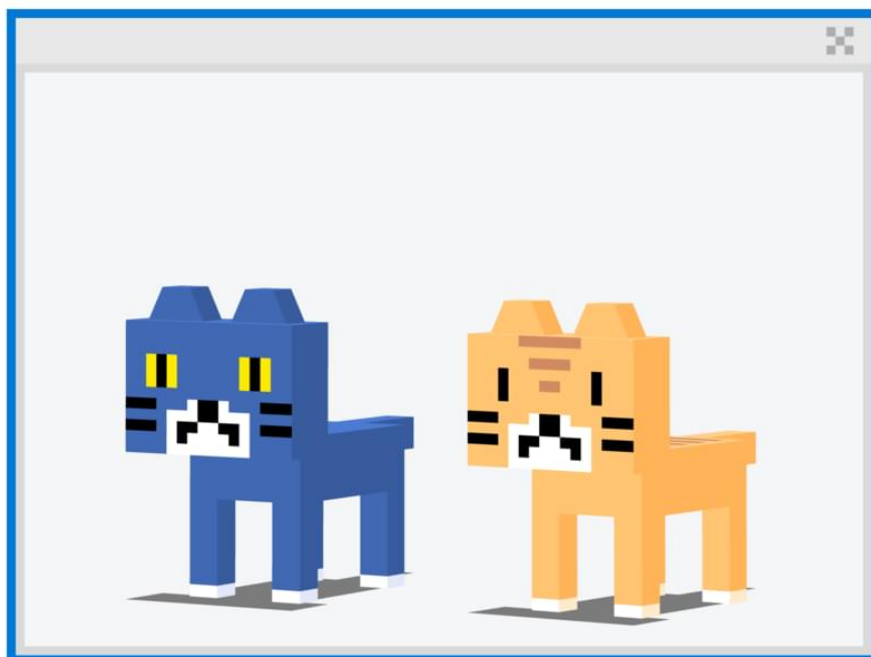


プログラミング用のエディター
Visual Studio Code
<https://code.visualstudio.com/Download>

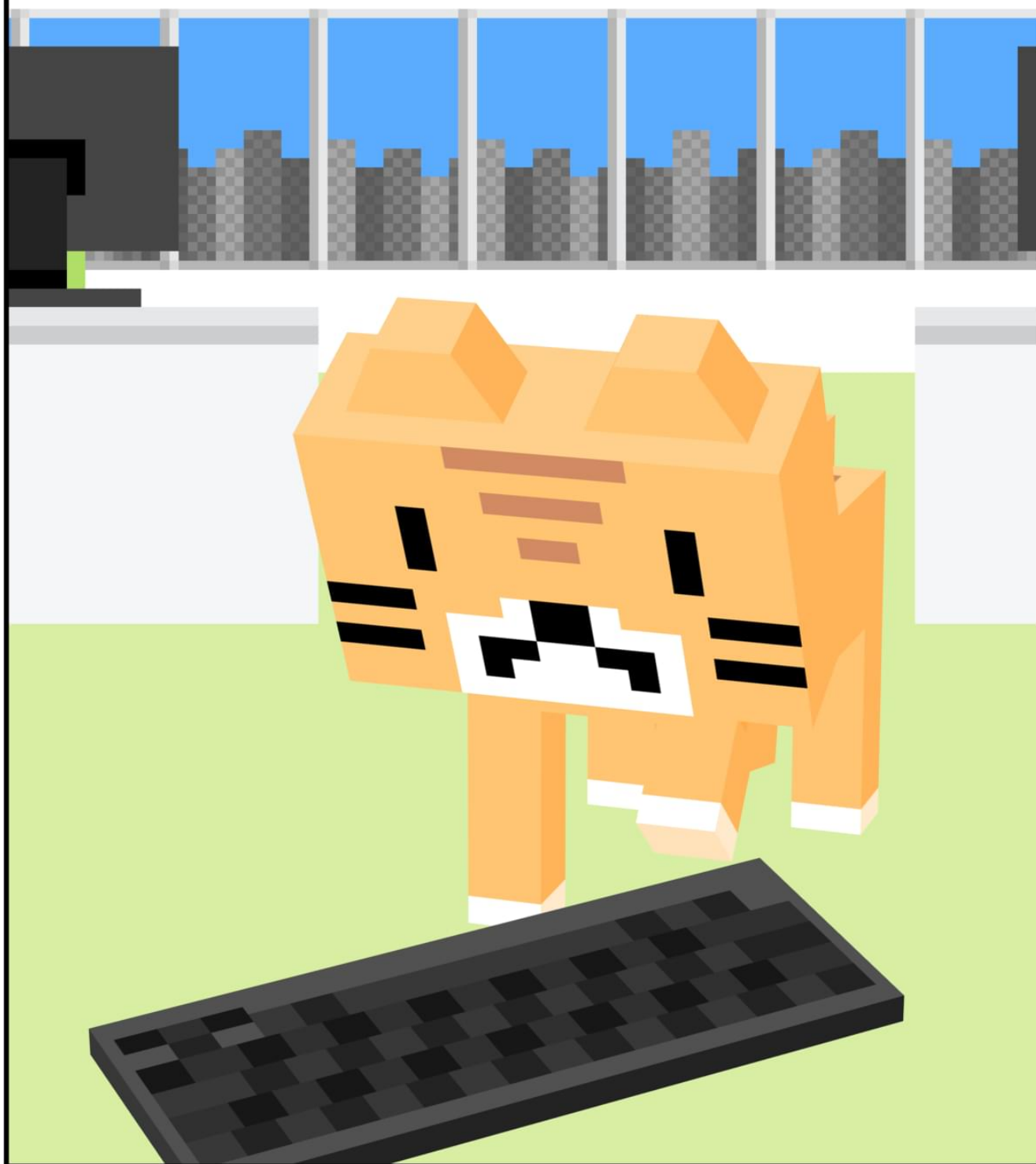
VSCodeと略することが多い







2-3 「簡単なプログラムの実行」





そして
Pythonを
実行する

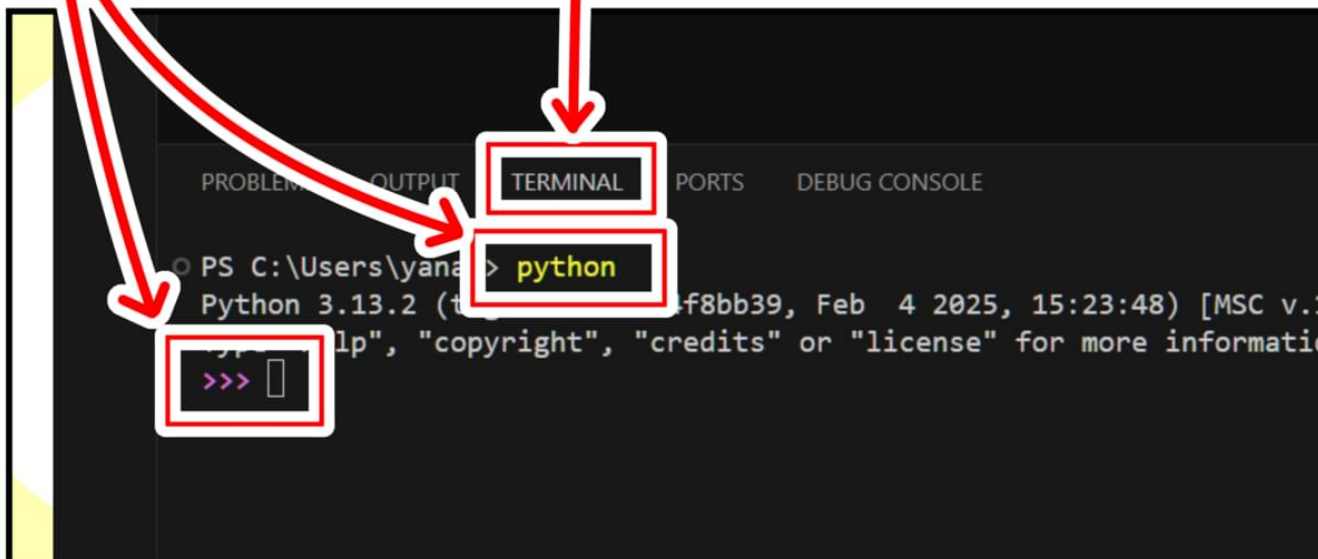
「python」と入力して
[Enter]キーを押すと
行の左端が「>>>」になる

pythonコマンドは
Macだとpython3に読み換え

VSCodeで
ターミナルを開く

[Ctrl+@]あるいは
メニューの「View>Terminal」で
ターミナルを開く

CtrlはMacでは⌘(Cmd)



「1+2」と半角文字で入力して
[Enter]キーを押す

```
>>> 1+2
```

```
3
```

計算結果の「3」が表示される

[Ctrl+Z]で終了できる

この状態で
ものすごく簡単な
プログラムを書いて
実行してみよう



これはまだ
入門の入門だから



先輩、私
プログラミングを
マスターしました



これは
1〜3行程度の
プログラムに
向いている

REPL

Read-Eval-Print Loop

先ほどの
REPLと呼ばれる
対話的にプログラムを
実行する方法だ



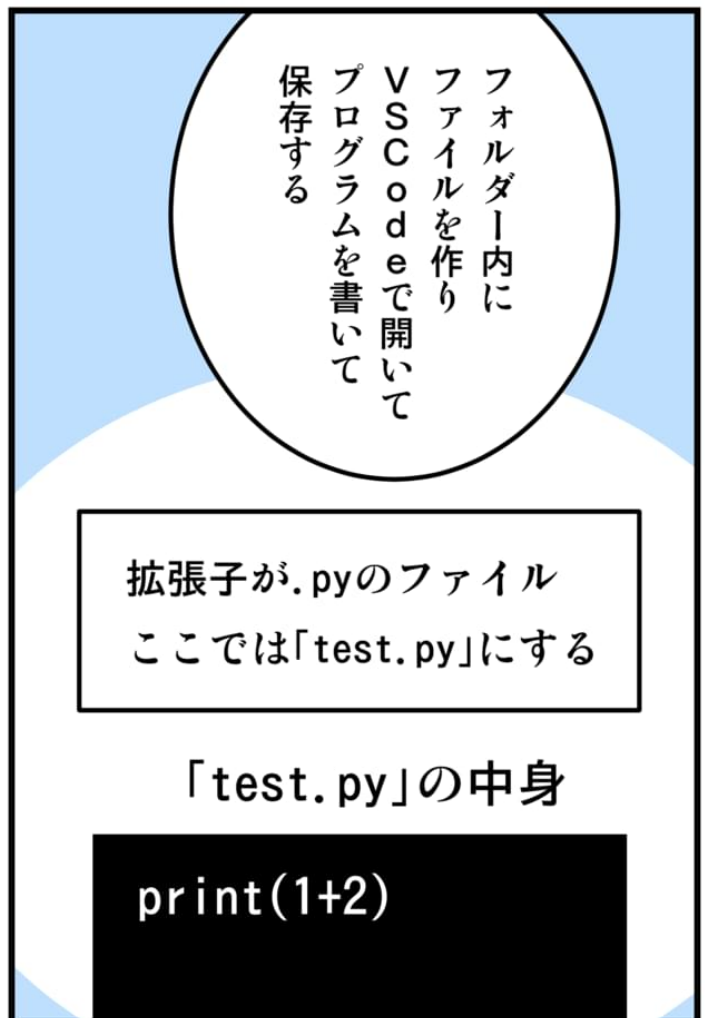
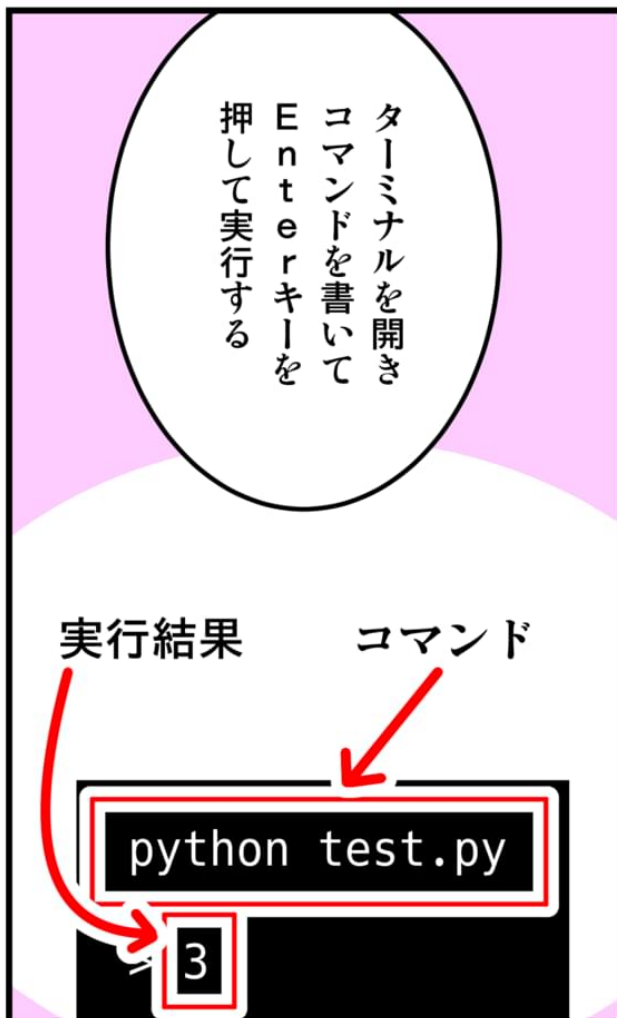
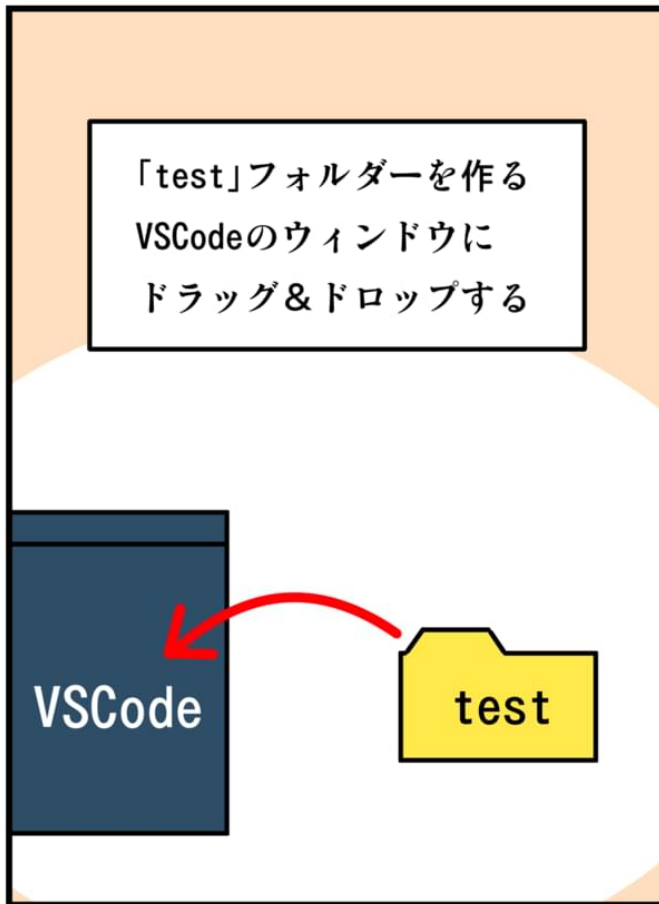
分かりました

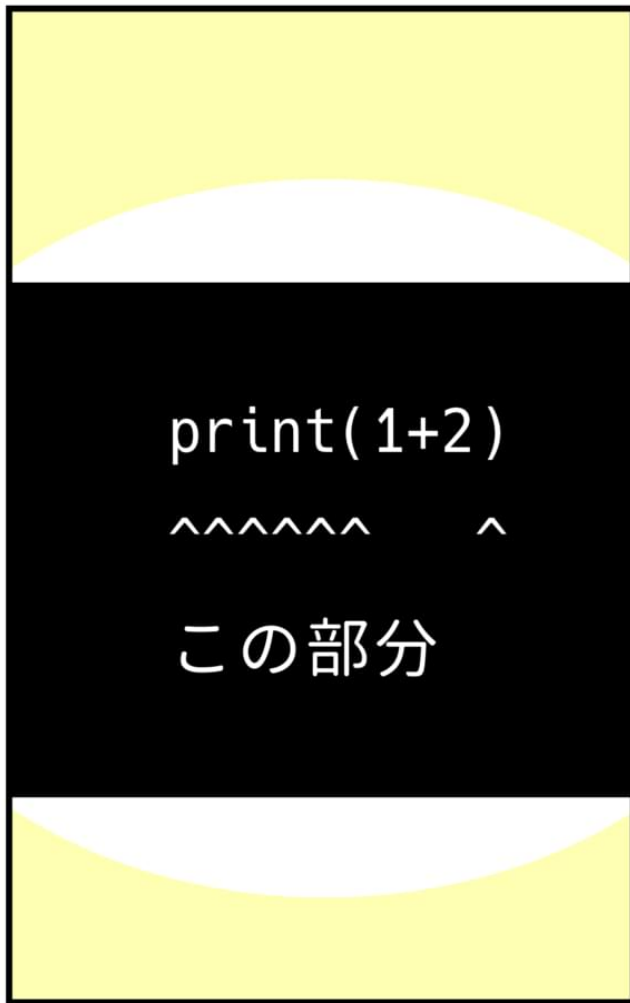


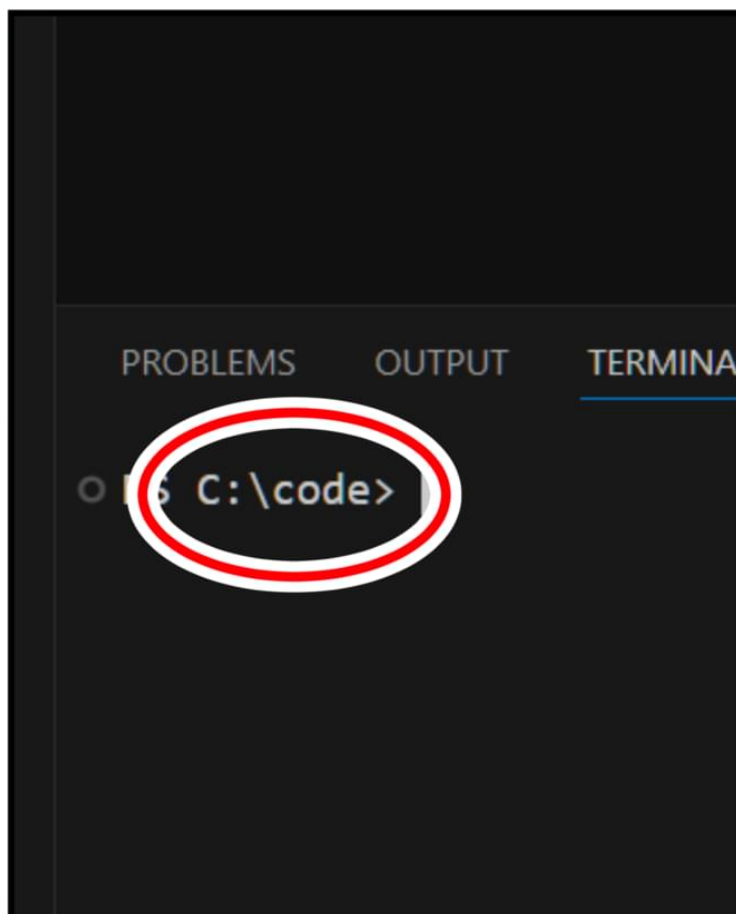
それより長い
プログラムは
ファイルに書いて
実行する

この方法も
説明するぞ

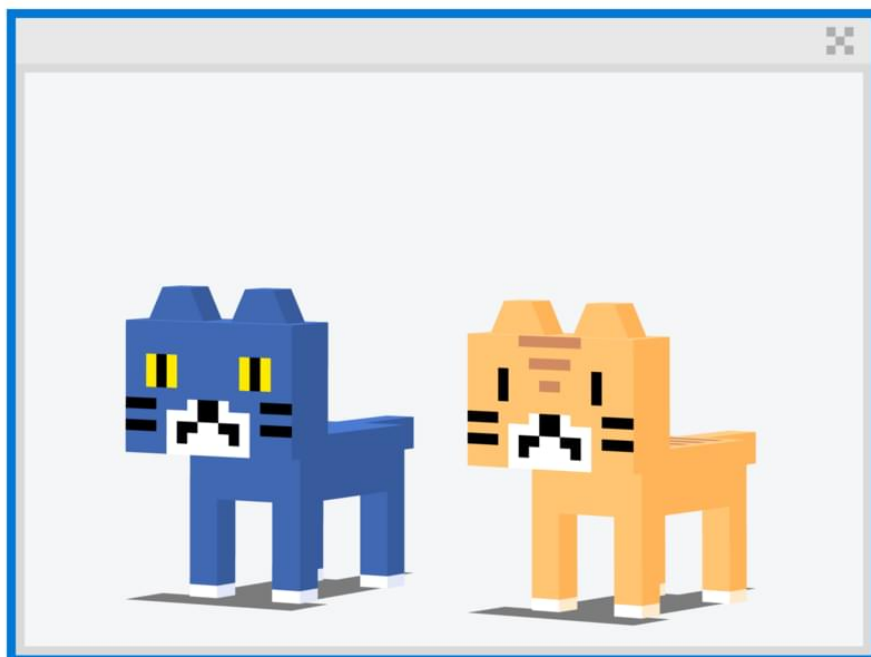






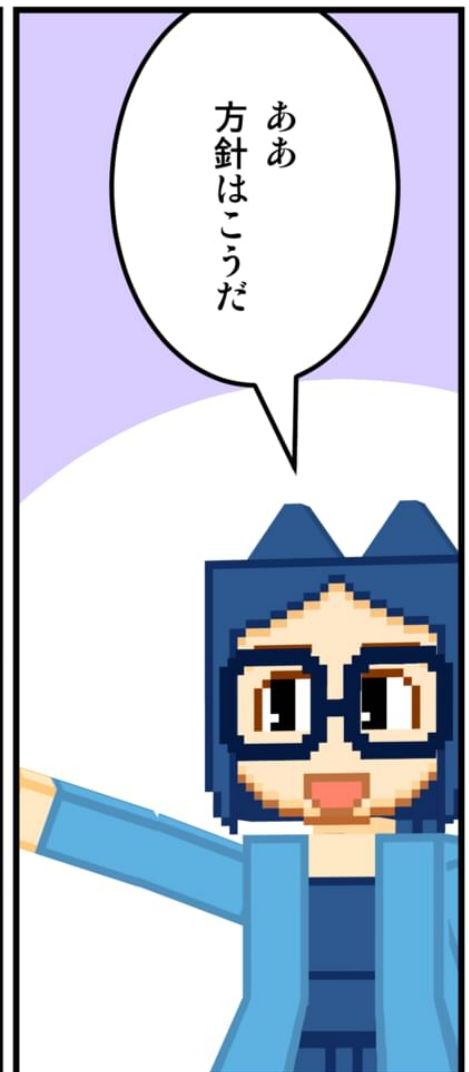
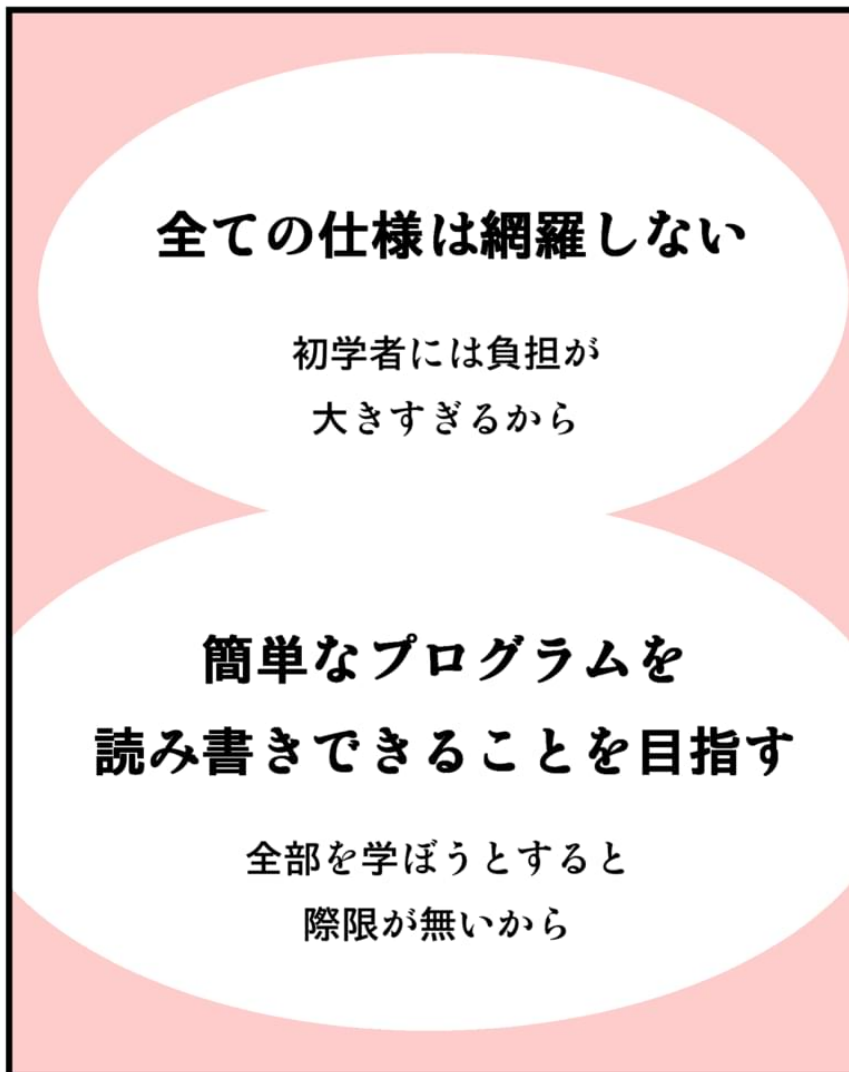






2-4 「今後の方針」





全部を学ぶと
すごい量なん
ですか？



たぶん仕事で
プログラムを
書いている人でも
全ては把握して
いないと思うぞ



じゃあ
プログラマーの人は
どうしているんですか？

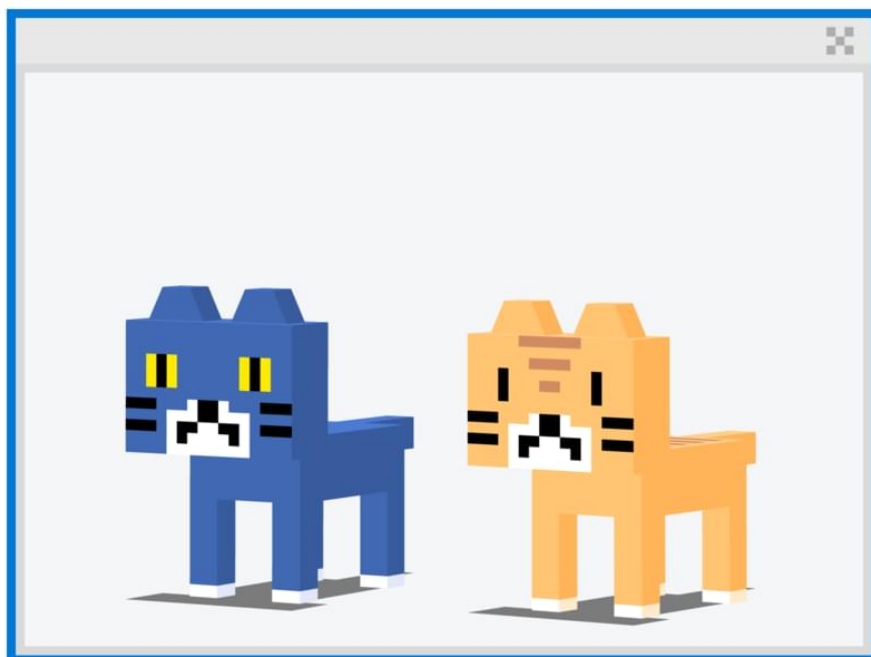


その都度調べる

ただ、調べるにも
基礎的な知識が必要だ

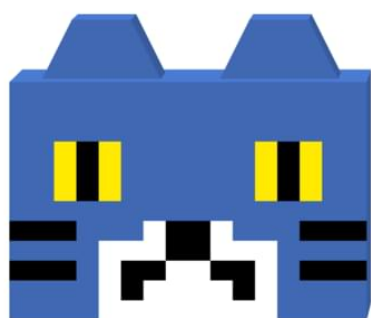




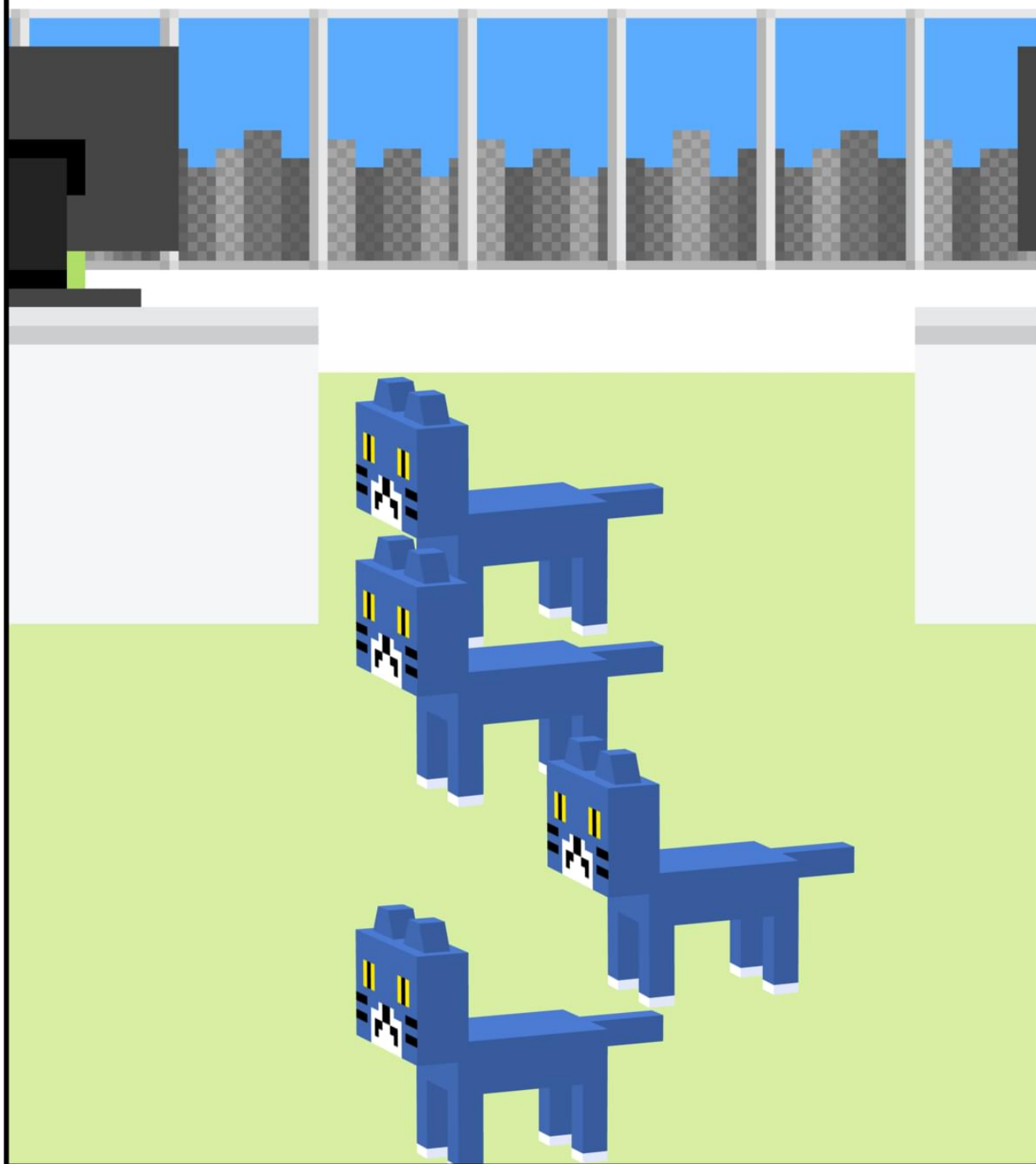


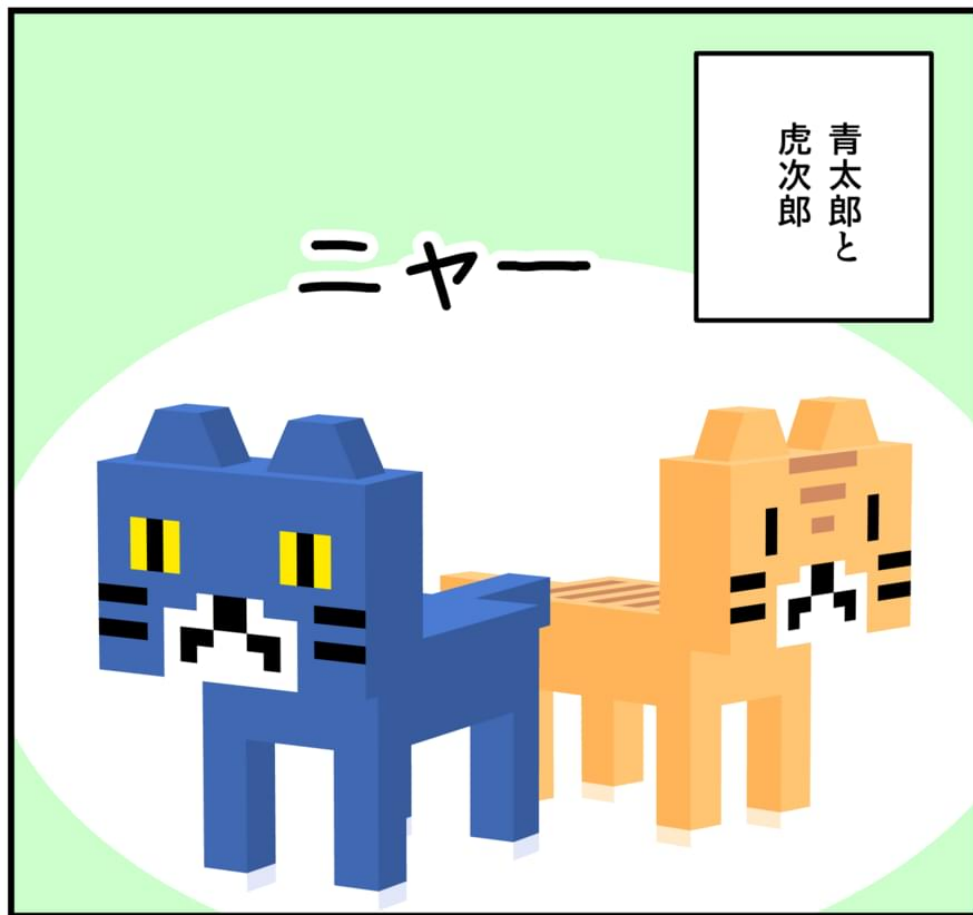
第3章

基本の基本 を知ろう



3-1 「処理順とインデント」





青太郎と
虎次郎

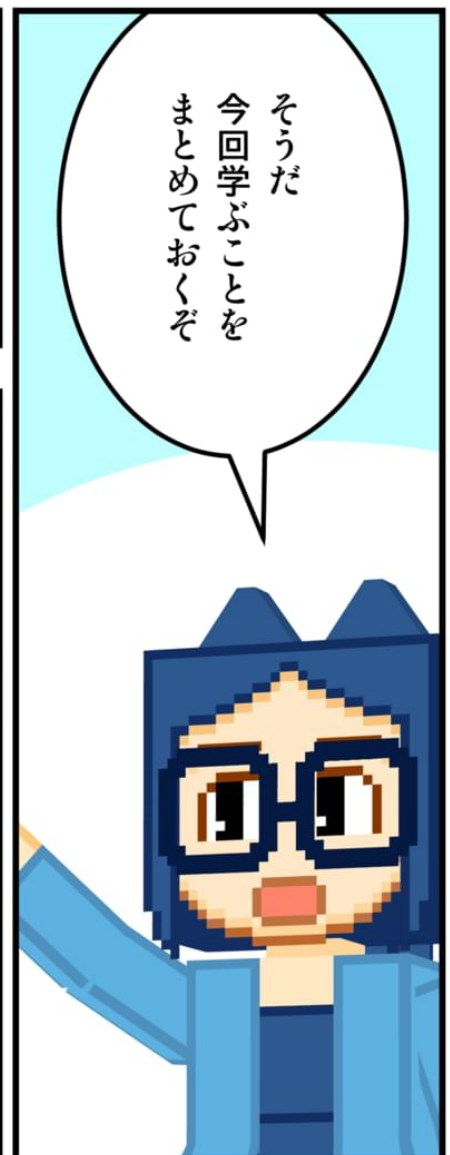
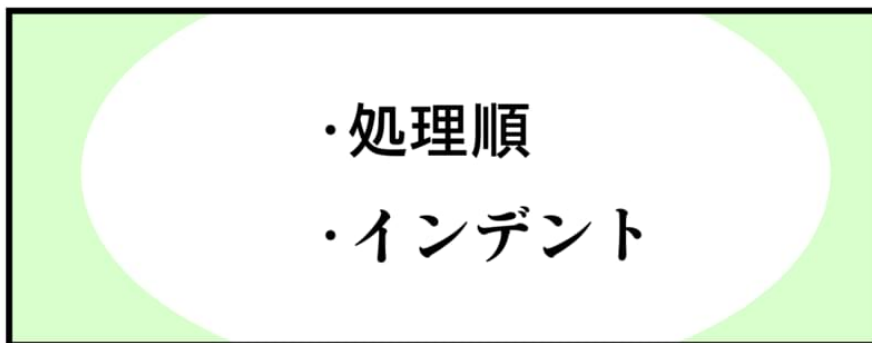
忠商企業
開発室



新入社員
にいみいりこ
新見入子



開発室長
ねこのみみ
猫野美実



1行目の処理
2行目の処理
3行目の処理
4行目の処理
⋮

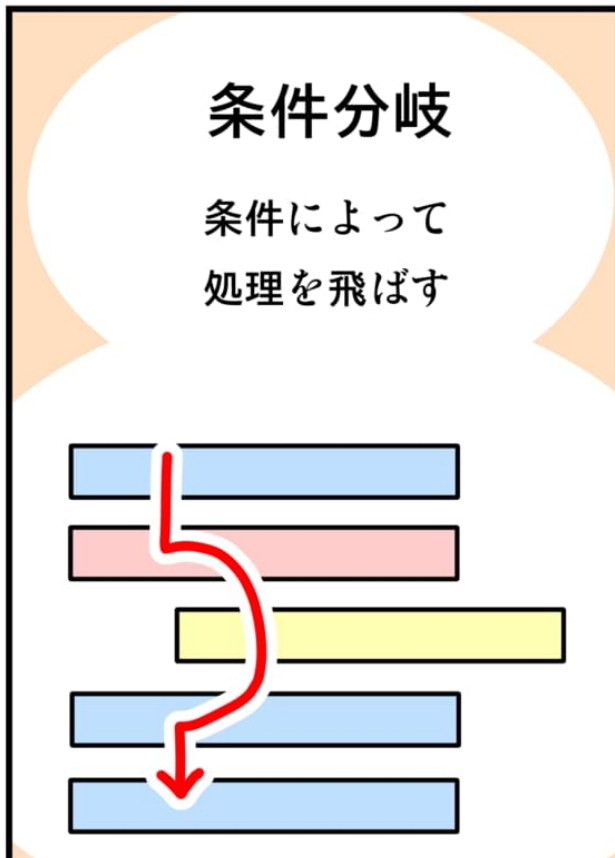
まずは処理順だ
基本的には
上の行から順番に
処理がおこなわれる

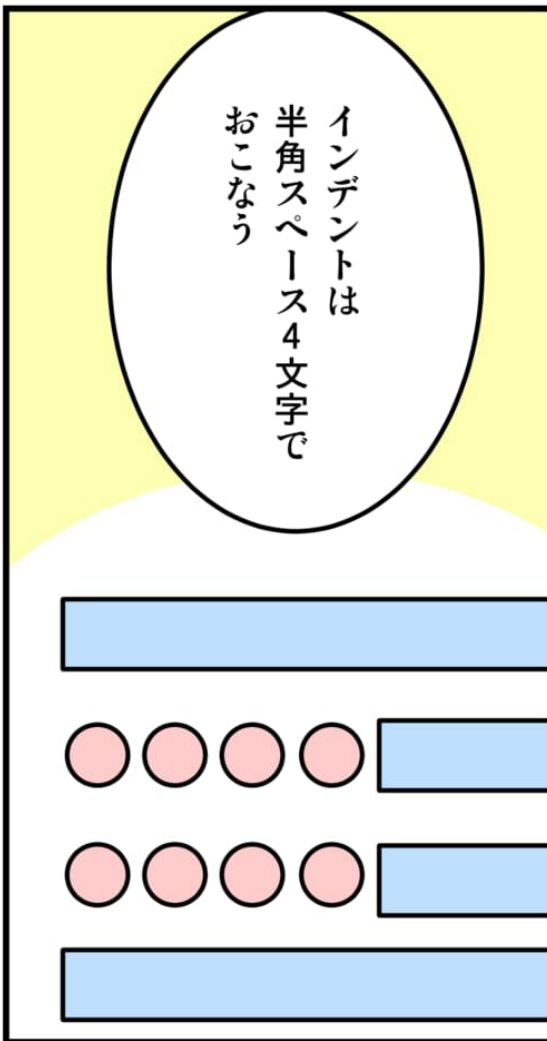


1: 前に3歩進め
2: 右に向きを変えろ
3: 前に2歩進め
4: お辞儀をしろ

人間を動かす
プログラムなら
こんな感じだ







半角スペース4文字でインデント

program

program

program

program

program

program

program

program

インデントごとに
同じブロック

program

program

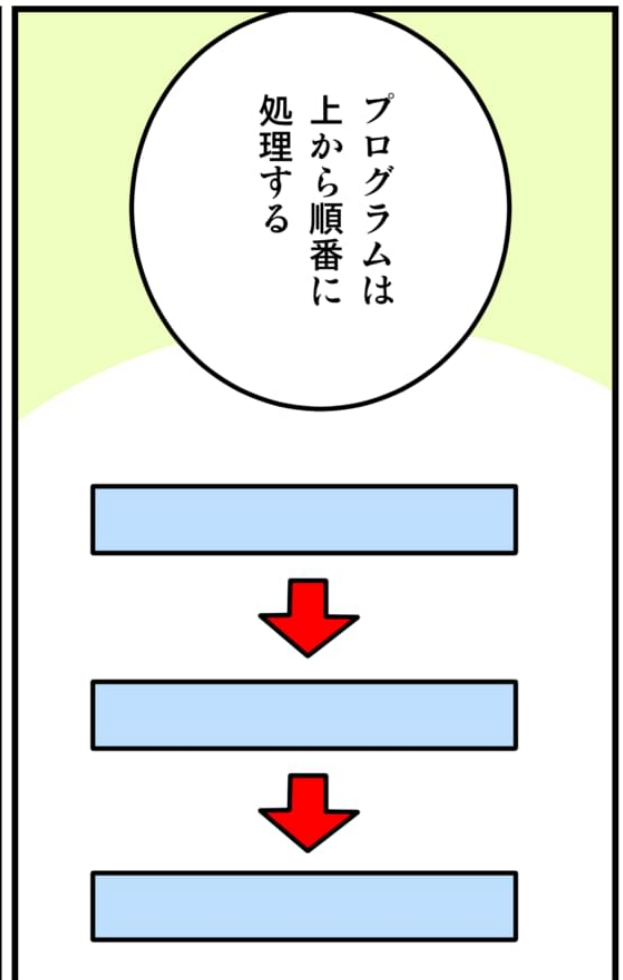
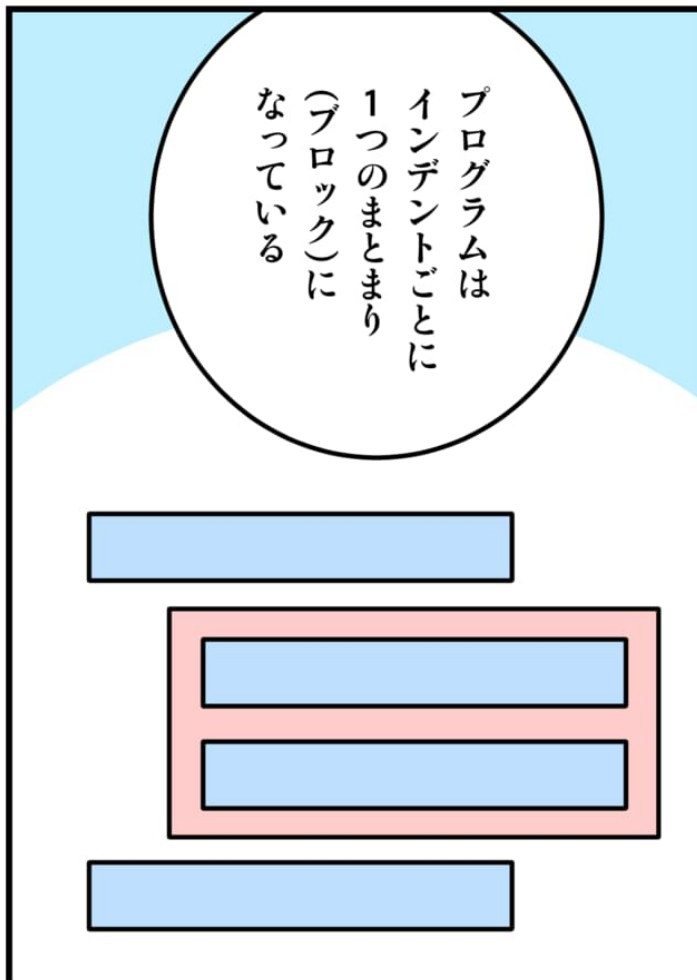
program

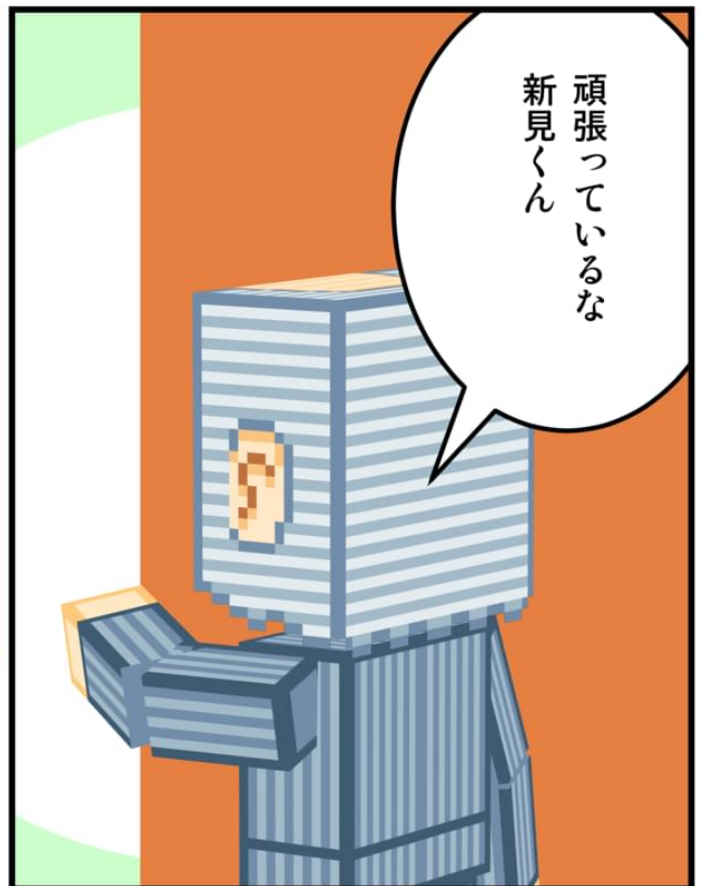
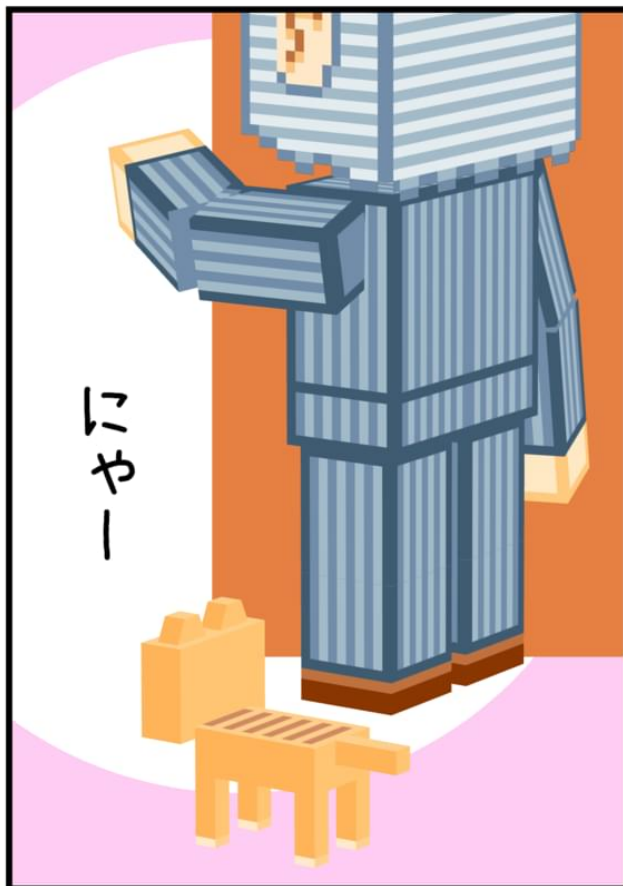
program

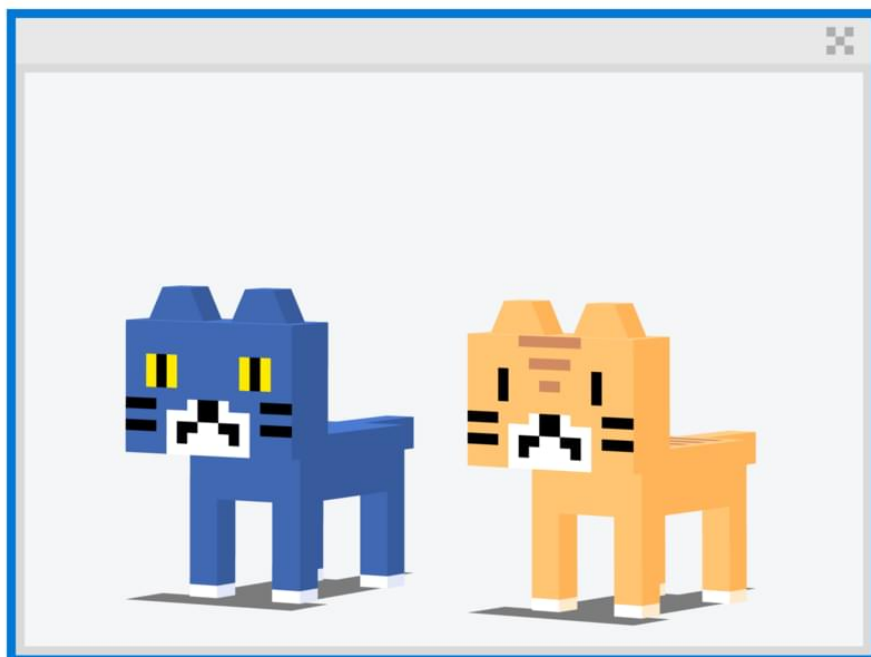
行の間に
空行があっても
同じブロック

注意点は
インデントは
同じ位置に
きちんと揃える
ことだ

インデントで
ブロック構造を
表すのは
Pythonの
大きな特徴だ

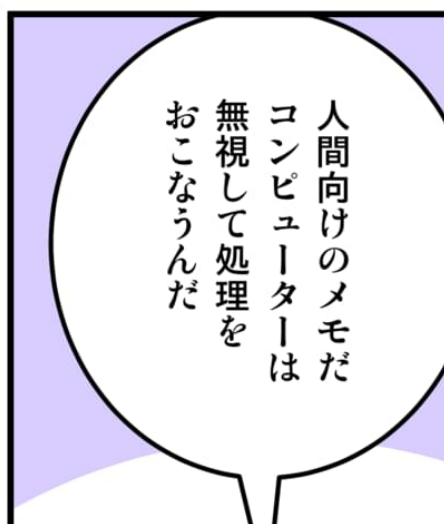
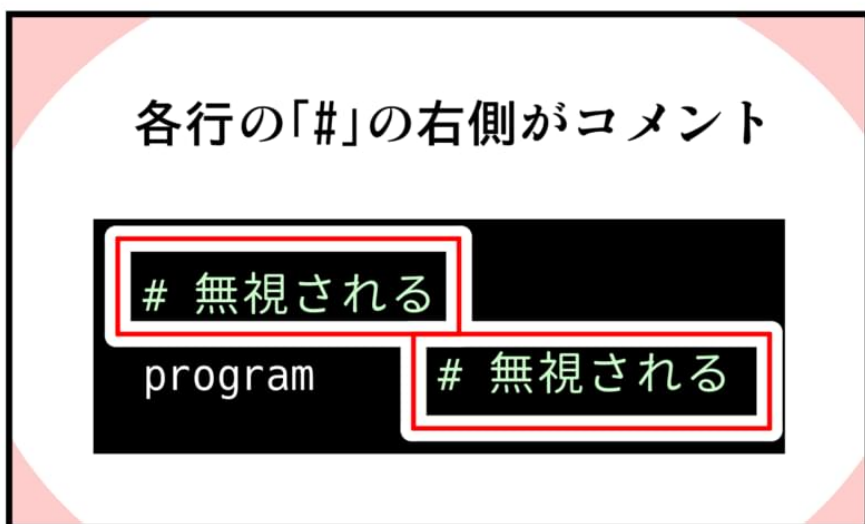






3-2 「コメント」







画像を表示

.....

.....

ファイルの読み込み

.....

.....

画面に表示

ウィンドウより大きい

なら縮小して表示

.....

.....



あと初心者の中には
調べた内容や
処理の説明を
細かく書いて
おくとよい



英語を学習
するときに
英文の下に
単語の意味を
書くような
ものだな

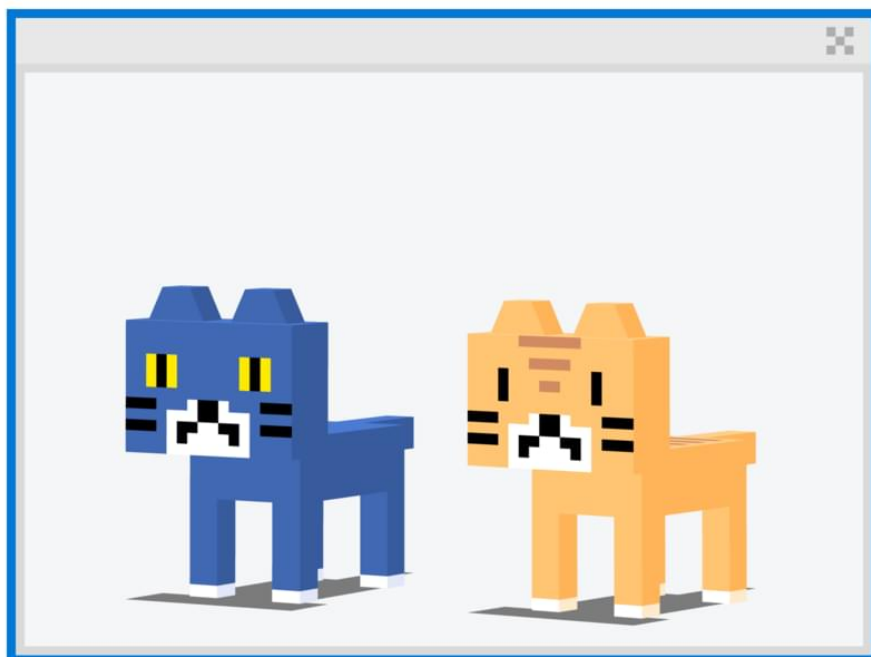


なるほど
最初のうちは
たくさん書きます
ものね



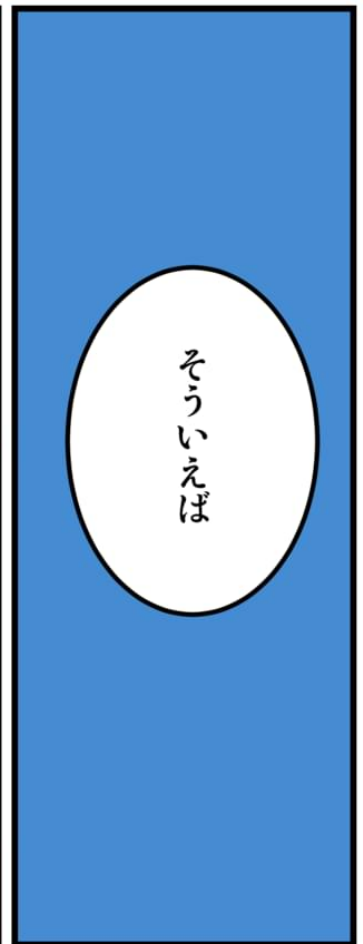
というわけで
今後の学習では
コメントを大いに
活用していきつけれ



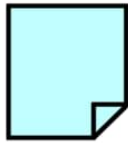


3-3 「プログラムの要素1」





まずテキスト
ファイルを作る



main.py

このファイルに
短いプログラムを書く

```
print(1+2)
```

今回は短い
プログラムを書いて
要素を分解して
いこう

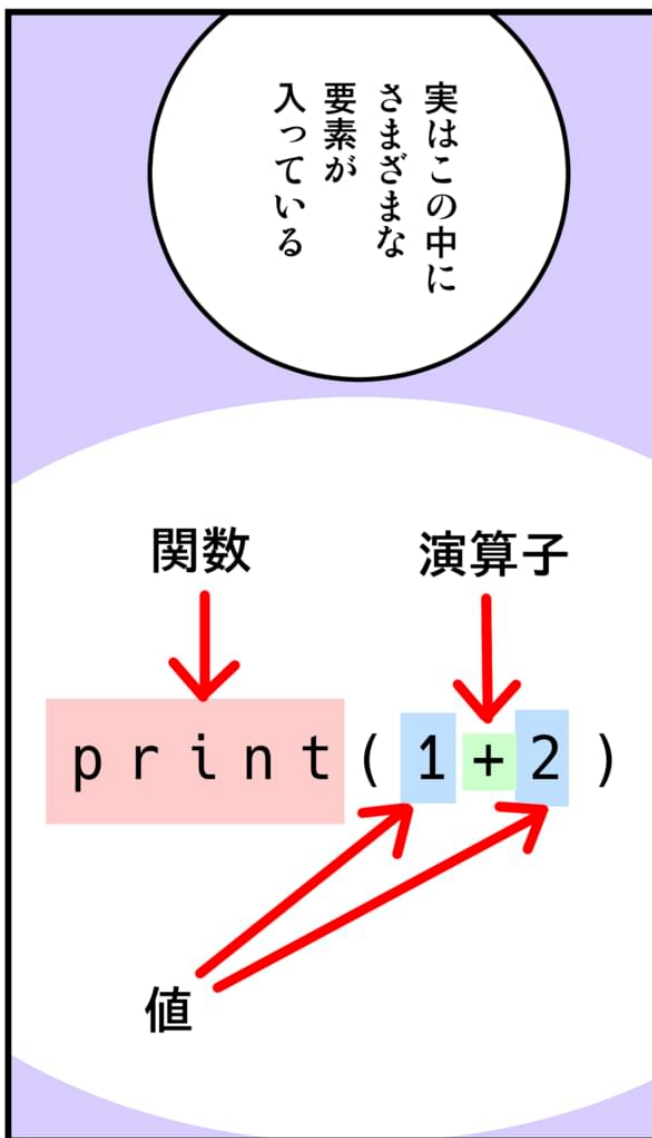


1. VSCodeでmain.pyのある
フォルダーを開く
2. Ctrl+@でターミナルを開く
3. 次のコマンドを実行
python test.py
4. 結果表示

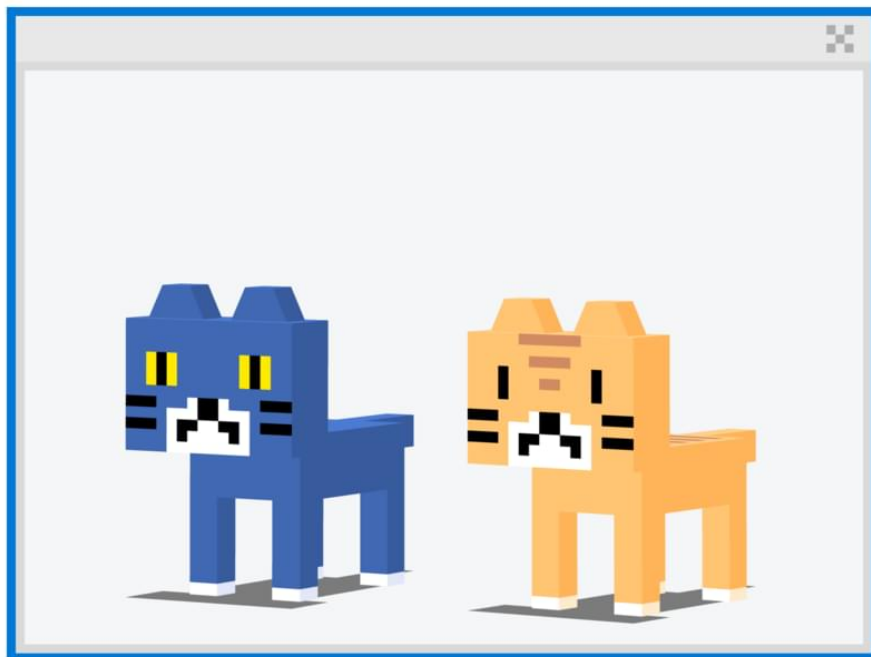
```
> 3
```

そして
Pythonの
プログラムとして
実行する



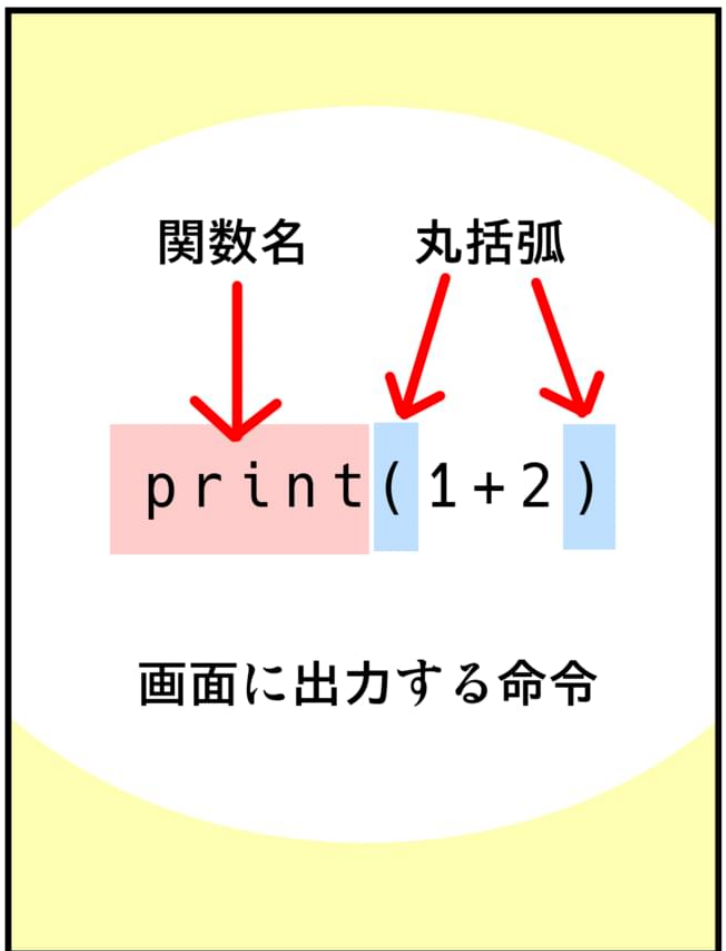


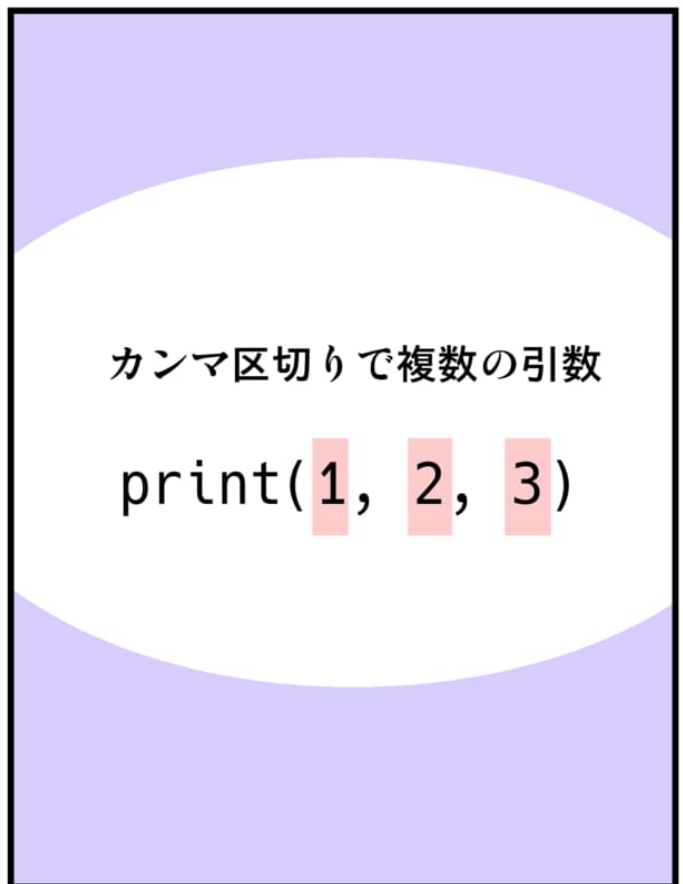
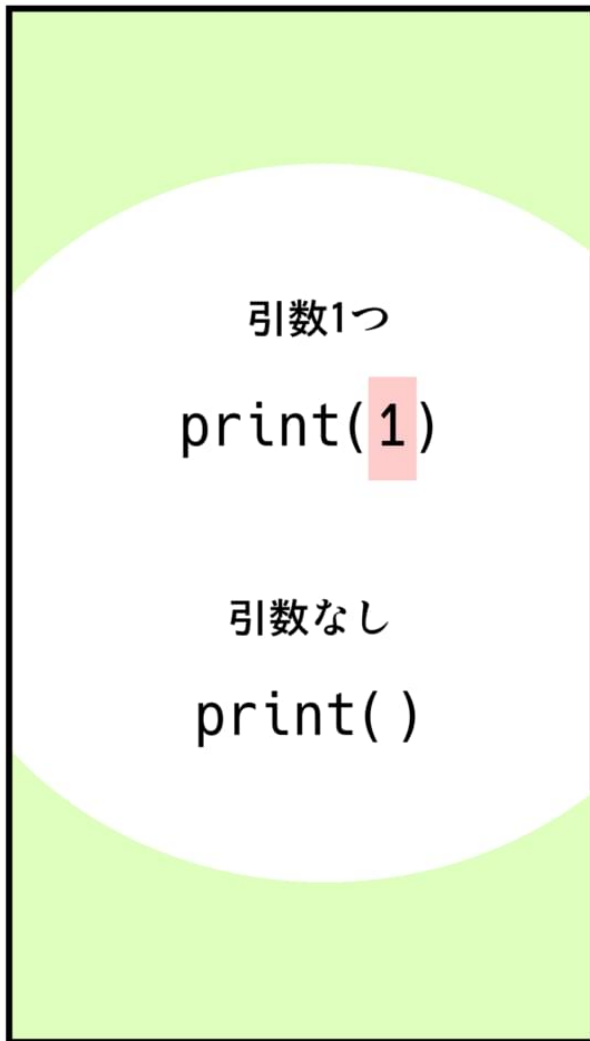




3-4 「関数」







例：引数の中で
最も大きな値を
返す関数

```
max(1, 2, 3)
```



3

そうした値を
戻り値と呼ぶ

また関数の多くは
計算や処理の結果の
値を返す



```
print(max(1, 2, 3))
```



max(1, 2, 3)は3



print(3)の状態になり



「3」と表示

こうした関数を
組み合わせたら
こんな風になる



1. VSCodeでフォルダーを開く
2. フォルダー内に「main.py」を作る
3. 「main.py」にプログラムを書く

main.py

```
print(max(1, 2, 3))
```

実際に少し
プログラムを
書いてみよう



できました

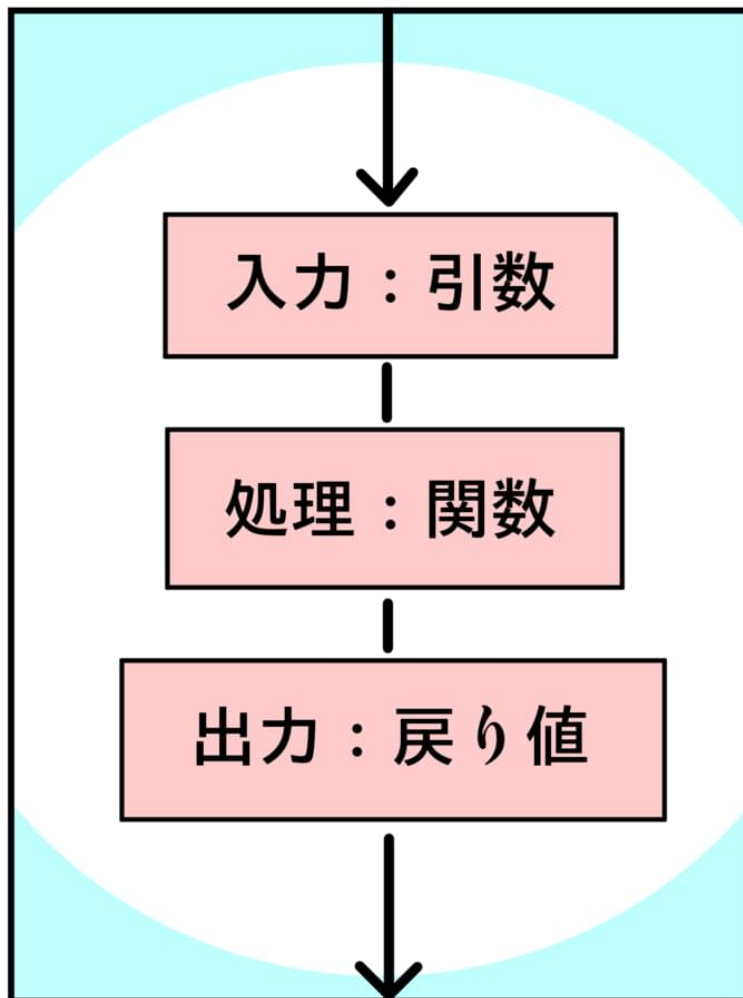


4. Ctrl+@でターミナルを開く
5. 「python main.py」を実行する
6. ターミナルに「3」と表示される

コマンドを実行

```
python main.py
```

> 3 ← と表示



組み込み関数 Python ドキュメント
[https://docs.python.org/
ja/3/library/functions.html](https://docs.python.org/ja/3/library/functions.html)

※ 組み込み関数：
初めから入っている関数



プログラムは
関数が重要
なんです

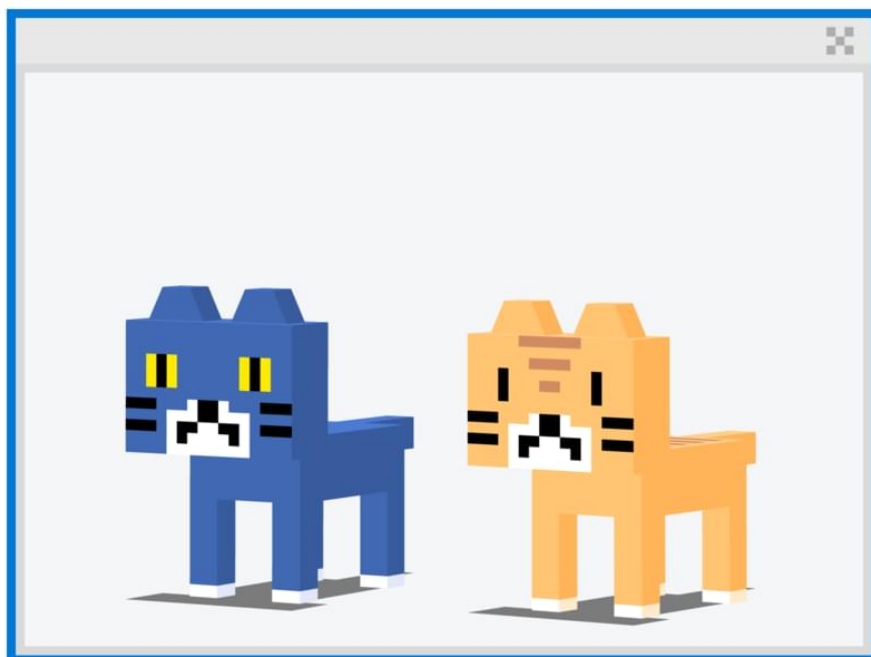
そうだ

たとえば車を作るときは
小さな部品を組み合わせて
大きな部品にしていくだろう

プログラムでは
自分で関数を作る

そして
関数を組み合わせたり
まとめた大きな関数を
作ったりしていくんだ

関数の作り方は
あとでちゃんと
やるから



3-5「値」



数値

1234

テキスト(文字列)

Abcdef

Bool値(真偽値)

True か False

他にもいろいろある

次は値だ
プログラムには
さまざまな値が
出てくる



もう少しだけ
詳しく説明して
いくぞ

プログラムでは
さまざまな値を
使い分けるんだ



いろいろ
ありますね



数値

整数

1234

0

-1234

小数点のつかない数値

小数点数

12.34

0.0

-12.34

小数点のついた数値

まずは数値だ

数値には整数と
小数点数があり
この2つは区別される



どうして
区別するん
ですか？



コンピューター内で
データの持ち方が
違うんだ

だから
プログラムでは
分けらるんだ



テキスト(文字列)

'My Cat.'

"Your Cat!"

'A'

"z"

シングルクォーテーションか
ダブルクォーテーションで囲う

次はテキストだ
文字列とも言う

クォーテーションで
囲って表現する

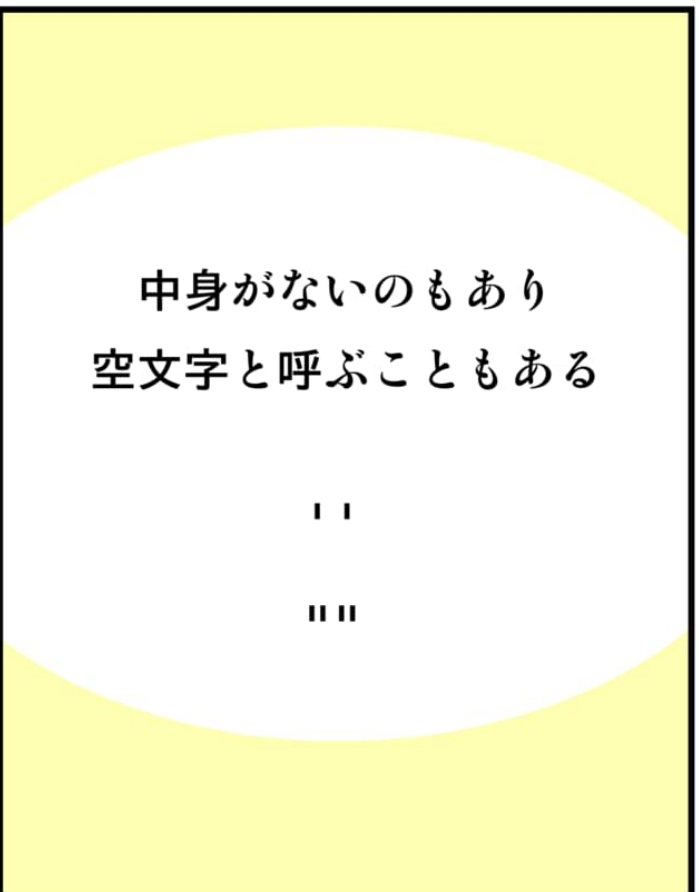


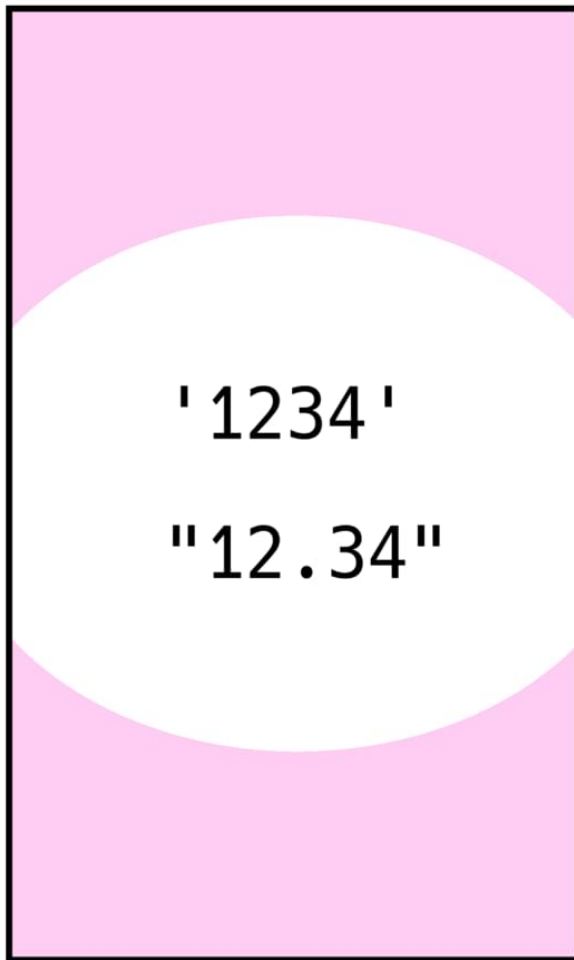
1文字以上でも
0文字でもいい
んですね

中身がないのもあり
空文字と呼ぶこともある

''

'''





改行は\n

'猫の名は\n虎次郎'

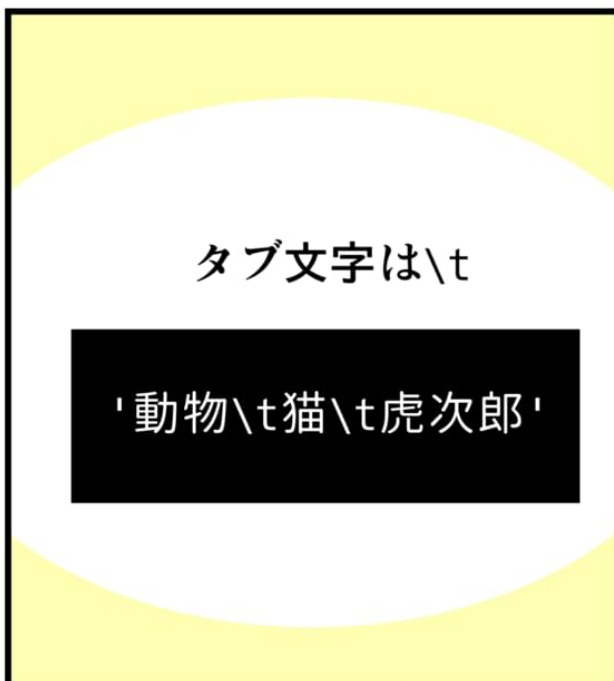
バックスラッシュ

自体は\\

'仕事\\文書.txt'

テキスト内の
クォーテーションは
\\を付ける

'大切なのは\\'心\\'です'
"大切なのは\\"心\\"です"



タブ文字は\t

'動物\t猫\t虎次郎'



Bool 値(真偽値)

True

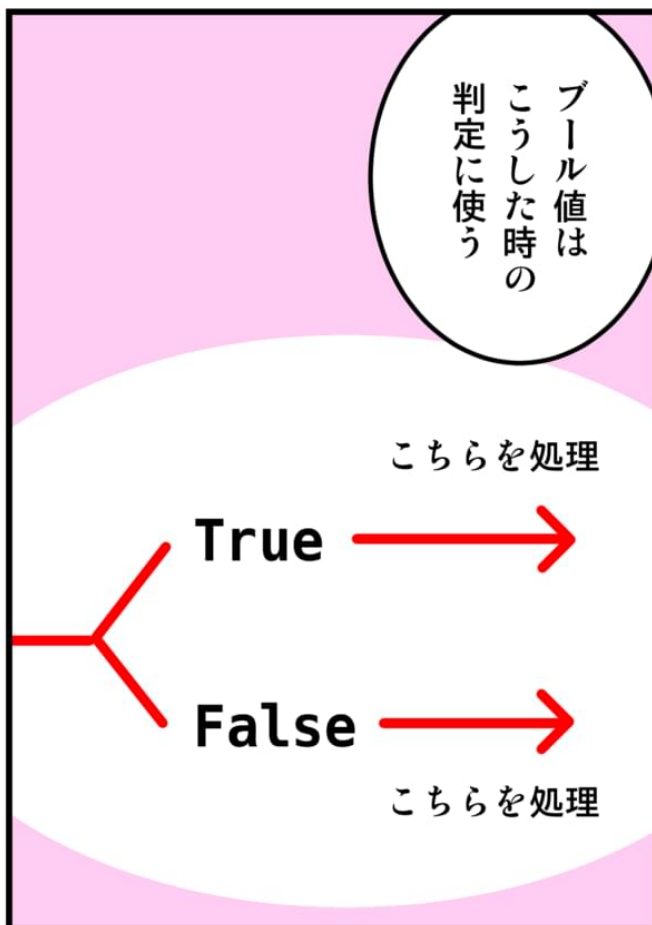
真

はい、OK、有効などの意味

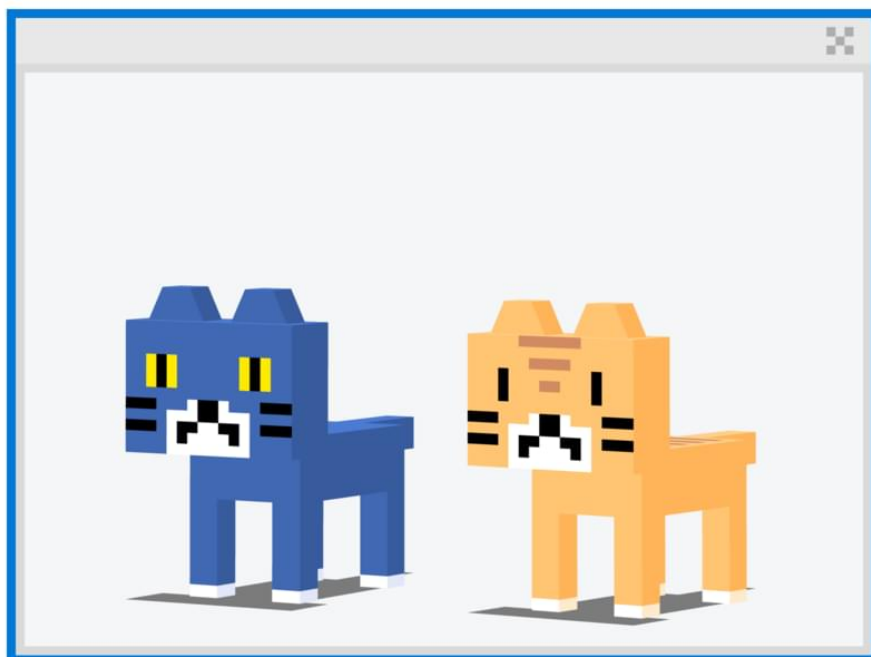
False

偽

いいえ、No、無効などの意味







3-6 「演算子」

